



小 論 文

(120 分)

人 間 文 化 学 部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は 3 学科共通です。
3. 問題は 2 題で、1 ページから 6 ページまであります。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1 次の文章を読んで、後の問い(問 1, 2)に答えよ。

鬼頭秀一『自然保護を問いなおす——環境倫理とネットワーク』(ちくま新書, 1996年)を一部改変

(注1) 田と田の境界に設けられる畦^{あぜ}にも, 作物を植えること

(注2) 自分の食用とするためなどに魚を捕る活動

問1 本文の内容をふまえて, 農業と生態系の関係をあなたはどうか考えるか, 250字程度で述べよ。

問2 本文の末尾で著者は, 伝統的な儀礼と生業の関係について述べている。この場合の生業とは自然と直接関連する第一次産業だけを意味するものではない。文化も生業も時代のなかで変化するものである。そのような時代の変化のなかで文化と生業の関係がどのように変化をするのか, あるいはしないのか。本文の内容をふまえ, 具体的な事例を挙げてあなたの意見を述べよ。字数制限は設けないが, 解答用紙の枠内に収めること。

問題 2 次の文章を読んで、後の問い(問 1, 2)に答えよ。

國分功一郎『中動態の世界——意志と責任の考古学』(医学書院, 2017年)を一部改変

問 1 下線部①で著者は、責任は「それらとは何か別の判断に依拠して」生じると述べているが、著者がこのように結論づけるのはなぜか、本文の内容に即して述べよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

問 2 下線部②「そうした事例」について、著者は自分がとりあげた例以外にもたくさんあると述べている。あなたが体験したり、知っていたりする事例のなかで「そうした事例」にあてはまると考えられる事例を紹介し、本文の内容をふまえながら、あなた自身がそれについてどのように考えるのかを述べよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。